

生産管理オペレーション 3級

平成28年4月

試験範囲		
【専門知識】		
I. 作業管理基礎	1. 生産システム	(1) 生産システムの構造 (2) 管理と生産管理
	2. 作業管理の考え方	(1) 作業管理の意義 (2) 作業管理の構成
	3. IE の分析手法と改善方向	(1) 工程分析 (2) 動作研究 (3) 時間研究 (4) 稼働分析 (5) 連合作業分析
	4. 作業改善の進め方	(1) 作業改善の考え方 (2) 動作改善 (3) 作業改善 (4) 治工具
	5. 5 S	(1) 整理・整頓 (2) 清掃・清潔 (3) 躰(しつけ)
II. 工程管理基礎	1. 工程管理の考え方	(1) 工程管理の目的と意義 (2) 工程管理の構成
	2. 生産形態の分類	(1) 受注の仕方による分類 (2) 生産品種と生産量による分類 (3) 製品の流し方による分類
	3. 日程計画	(1) 工数と日程 (2) 日程計画の代表的な手法
	4. 生産統制	(1) 生産計画と生産統制の管理業務 (2) 製作手配 (3) 作業分配(差立) (4) 進捗管理 (5) 現品管理 (6) 余力管理 (7) 事後処理
III. 設備管理基礎	1. 設備管理の考え方	(1) 設備管理の意義 (2) 設備管理の構成
	2. 設備保全	(1) 設備保全の目的 (2) 生産保全 (3) 事後保全と予防保全 (4) 日常保全 (5) 設備総合効率 (6) 自主管理活動
	3. 設備の劣化	(1) 設備劣化の原因と対策 (2) 寿命特性曲線と保全
	4. 設備保全システム	(1) 重点設備・重点箇所の保全 (2) 検査・整備・修理 (3) 保全の記録
IV. 資材・在庫管理の基礎	1. 資材管理の考え方	(1) 資材管理の意義 (2) 資材管理の構成
	2. 資材計画	(1) 資材購入計画 (2) 発注費用 (3) 部品所要量の算出
	3. 在庫管理	(1) 在庫の種類と機能 (2) 発注方式と安全在庫 (3) A B C 管理
	4. 入出庫管理	(1) 入出庫の管理と情報 (2) 入出庫の方法
	5. 棚卸	(1) 棚卸方法 (2) 棚卸資産評価
	6. 購買管理	(1) 購買の方法と考え方 (2) 購買倫理 (3) 取引先の管理
V. 運搬・物流管理の基礎	1. 物流管理の考え方	(1) 物流管理の意義 (2) 物流の範囲 (3) 物流の業務
	2. 保管	(1) 保管機能 (2) 倉庫機能 (3) ロケーション管理
	3. 荷役	(1) 荷役機能 (2) ピッキング
	4. 運搬	(1) 運搬機能 (2) 運搬の合理化
	5. 包装	(1) 包装の役割 (2) 包装の種類と機能
【共通知識】		
I. 品質管理	1. 品質管理の考え方	(1) 品質管理の意義 (2) 品質と品質特性 (3) 管理のサイクルと改善
	2. データの活用	(1) データの取り方 (2) データの表し方 (3) データの解析
	3. 検査	(1) 検査の目的と方法 (2) 全数検査と抜取検査 (3) 検査と管理
	4. 品質改善の進め方	(1) 品質改善の進め方 (2) データ主義 (3) 源流主義
	5. 品質保証	(1) 品質保証の意義と進め方 (2) I S O 9000 シリーズの概要 (3) 品質保証とクレーム処理 (4) 製造物責任(P L) (5) 工業標準化と品質管理責任者
II. 原価管理	1. 原価管理の考え方	(1) 原価管理の基本的な考え方 (2) ブランニングとコントロール (3) 原価管理の体系と管理サイクル
	2. 製品開発と製造の原価	(1) 原価の推移とコストダウン (2) 原価の内容
	3. 原価の構成	(1) 製造原価と総原価 (2) 材料費・労務費・経費(発生形態による分類) (3) 直接費・間接費(製品との関連による分類) (4) 固定費・変動費(操業度との関連による分類)
	4. 原価計算のしくみ	(1) 標準原価計算 (2) 実際原価計算 (3) 原価差異
	5. 原価低減	(1) 直接材料費の原価低減 (2) 直接労務費の原価低減 (3) 直接経費の原価低減 (4) 間接部門の原価低減
	6. その他の用語	

試験範囲		
Ⅲ. 納期管理	1. 納期管理の考え方	(1) 納期管理の意義 (2) 顧客と納期遵守
	2. 納期遅延の発生要因と対策	(1) 設計部門での要因と対策 (2) 生産計画での要因と対策 (3) 資材部門での要因と対策 (4) 製造部門での要因と対策 (5) 物流部門での要因と対策
	3. 納期管理の手法	(1) 納期遅延・日程遅延の分析 (2) 進捗管理の手法
	4. 目で見える管理	(1) 生産計画・統制での目で見える管理 (2) 資材・在庫・物流での目で見える管理
Ⅳ. 安全衛生管理	1. 安全衛生管理の基本	(1) 安全衛生管理の基本 (2) 安全衛生管理体制の構築 (3) 災害統計等
	2. 労働安全衛生法の概要	(1) 労働安全衛生法の体系等の概要 (2) 労働安全衛生法の目的と各章の構成 (3) 事業者等の講ずべき措置 (4) 健康の保持増進のための措置
	3. 設備等物的安全化の基本	(1) 労働安全衛生法に定める機械等の規制 (2) 設備安全化の基本 (3) 労働安全衛生法に定める有害物等の規制
	4. 安全教育等人的安全化の基本	(1) 労働安全衛生法に定める労働者の就業にあたっての措置 (2) 労働安全衛生法で定める安全衛生教育の定着化のポイント (3) 作業標準の作成とその遵守活動 (4) 整理・整頓・清掃活動の推進
Ⅴ. 環境管理	1. 環境問題の歴史的経緯と環境基本法	(1) 公害問題の始まり (2) 高度経済成長期の公害問題 (3) 公害対策の強化 (4) 環境基本法と関連法規制
	2. 公害防止対策	(1) 大気汚染とその対策 (2) 水質汚濁とその対策 (3) 土壌汚染とその対策 (4) 騒音・振動とその対策 (5) 悪臭とその対策
	3. 工場・事業場における環境保全の取り組み	(1) 環境保全の維持と改善 (2) 環境改善のしくみと環境マネジメントシステム